

# 県産肉牛の出荷再開

## 県流通センター まようから処理・検査

政府による肉牛の出荷停止が解除された県内で二十八日、出荷が再開された。二十九日に郡山市の県食肉流通センターで食肉処理・検査が始まる。

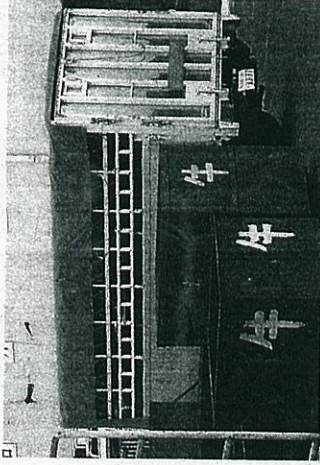
同センターには十八日、全戸検査対象のJAそま、JAあぶくま石川、会津地域の各JAなどから二十三頭が運び込まれた。二十九日は十一頭が入る。二十九日に食肉処理し牛海綿状脳症(BSE)検査で問題がな

ければ、三十日に郡山市の県農業総合センターで放射性セシウムの検査を行う。

県食肉流通センターでは一日当たり三十四

頭を処理する。全農県本部によると、出荷待ちの長い牛を優先して処理する。最初の検査結果は三十一日に判明する。

県内で出荷適期を過ぎた牛は約千五百頭。三十日以降も全戸検査対象農家を先行して行い、汚染牛を出荷した農家、計画的避難、緊



県食肉流通センターに牛を運ぶ農家のトラック＝郡山



出荷前に体重測定を受けける肉牛＝喜多方

急時避難準備両区域の農家を対象とする全頭検査は九月上旬ごろから実施される見通し。  
二十八日に浅川町で

肥育した牛一頭を搬入したJAあぶくま石川肥育部会副会長の岡部喜市郎さん(左)は「やっと出荷できて一安心。検査も大丈夫だと